

# 『密航のち洗濯 ときどき作家』を読む

## 「密航」と呼ばれた移動と文-体



### 密航のち洗濯

ときどき作家

『ニッポン  
複雑紀行』  
初の書籍化

1946年夏。朝鮮から日本へ、  
男は「密航」で海を渡った。

日本人から朝鮮人へ、

女は裕福な家を捨てて男と結婚した。

貧しい二人はやがて洗濯屋をはじめ。

柏書房

つるぎ ぶん  
蔚山、釜山、山口、東京——洗濯屋の「その後」を知る子どもたちへのインタビュー  
と、わずかに残された文書群を手がかりに、100年を超える家族の歴史をたどる。

2025年 8月30日(土) 14:30～17:30

立命館大学(衣笠キャンパス) 清心館 SE202 教室

参加費/申込:不要 連絡先:金昇淵(r23022k@omu.ac.jp)

ゲストスピーカー

宋 恵媛(大阪公立大学 教授)

ファシリテーター

金昇淵(大阪公立大学 特任助教)

コメンテーター

鳥木 圭太(立命館大学 客員協力研究員)

森 祐香里(立命館大学 博士課程後期課程)

佐々木 梓(立命館大学 博士課程後期課程)

主催:立命館大学国際言語文化研究所 世界/日本文学のモダニティ(モダニズム研究会)

後援:大阪公立大学大学院文学研究科人文学学際研究センター(HIRC)